

環境方針

我社の理念である「顧客が満足する製品を供給する」から、視野を広め環境を配慮した製品を積極的に供給するとともに、環境保全に努めるため、下記のことを環境方針とする。

I. リサイクル品の販売促進

資源を無駄にせず再利用し、環境を守るために我社の主力販売商品の合成繊維ネットを再生ポリエステル繊維製などに移管すべく顧客へのリコメンド及び製品メーカーへの対応を推し進め、リサイクルの推進を促進する。

II. 天然資源の利用量を削減

事務所内における電力、暖房用燃料（灯油）、自動車等燃料（ガソリン・軽油）の使用量及びコピー用紙を主とした紙使用量を削減する。

III. 社員ミーティングによる環境問題に関する知識の向上

定期開催の社員ミーティングに環境問題を取り上げ、社員全員の環境保全に関する知識を共有すると共に向上するよう、ミーティングの項目に環境関連事項を追加する。

IV. 5S活動の促進

5S活動を行うことで、業務効率を向上させ、社員一人ひとりの意識と行動を変革すると共に快適な職場環境の維持に繋げるよう努める。

令和3年10月19日

炭谷漁網資材株式会社

代表取締役 炭谷富士子

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標一1	二酸化炭素の総排出量を、2020年度を基準として2022年度までに2%削減する(25,336.3kg-CO ₂ →24,829.5kg-CO ₂)
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none">① 輸送や顧客訪問、打合せなどのルート、時間、回数を計画的に行う② 車で移動する場合には、乗り合わせを徹底する③ 車両の点検・整備と燃料の確認を定期的に行う④ ハイブリッド車や低燃費車、低公害車の導入を進める⑤ アイドリングの防止⑥ 車の空調温度を適正温度に設定する⑦ 不要な荷物は積まない⑧ 急発進や急加速、急ブレーキをしない、車間距離に余裕を持つ⑨ 事務室の空調温度を適正(冷房時28度、暖房時20度)に設定する⑩ フォークリフトの使用を削減する

目標一2	廃棄物の適正な管理を行い、廃棄物の削減・リサイクルに努める
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none">① 廃棄物の分別仕様を再検討し、置場を整理する② ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める③ 紙・段ボールのリサイクルに努める

目標一3	コピー用紙の使用量の節減に努める
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 両面印刷、両面コピーを徹底する ② 使用済み用紙の裏面を利用する ③ 作成した資料は、パソコン画面での確認を徹底する ④ コピー機のボタンを押す前に、必ず設定を確認する

取組一4	5S活動を推進する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 倉庫内の整理、整頓によって無駄をなくす ② 掃除を習慣化させ、社内を清潔に保つ ③ 必要なものがすぐに使えるような配置（レイアウト）、置き場所、置き方を決める。

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、総務課長（環境管理責任者）を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。